

# リベルタ新聞

リベルタに  
集う友らの

とある利用者様の一句



9月に特別講師をお呼びし、ハーバリウム教室を開催致しました。4色の花材の中からお好みのものを選び、自由に瓶に詰めて頂きました。綺麗な作品が出来上がり、利用者様はとても喜ばれておりました。

9月12日・13日

に敬老会が執り行なわれまして。今年度は2日間に行われ、多くのご利用者様をお祝いする事が出来ました。式典の中で涙を流される利用者様も見られ、職員一同感動し、その場にご一緒させて頂けたことに幸せを感じました。

2018年  
10月1日(月)  
リベルタ新聞社  
富士市厚原372番地1  
ホームページ  
<http://www.fujic3.com>  
TEL:0545-72-3833



定期連載  
俊さんのコラム

## 「昭和十二年苦難の始まり」

先月号の続き・・・。

そして昭和十九年から二十年にかけて、サイパン島も陥落して、B二九の爆撃機が、飛来して、多くの都市が空襲で焼かれ、やがて東京にも、B二九が、飛来するようになりました。東京では毎日のように、飛来して、焼夷弾を投下しておりました。

昭和二十年三月九日の夜から十日の夜に、「サイパン」「テニヤン」島から発進した、三百七十機B二十九の飛来があり、東京下町を中心に、爆撃され、一夜で十一万五千人の死者が、出て、焼夷弾の威力にどうすることも出来ませんでした。

その後、「広島」「長崎」に原子爆弾が投下され、我々市民には、特殊爆弾といわれておりました。しかし、軍部がいくら箝口令をひいても自然と情報ももれて、特殊爆弾と知られる様になりました。

そして昭和二十年八月十五日終戦となり、それから苦難の日々が続きました。

